


環境学習協働推進広場参加登録団体紹介

ふりがな	おかやまだいがくちいきそうごうけんきゅうせんたー		
団体名	岡山大学地域総合研究センター		
設立年月日	平成23年11月15日	会員・職員数等	19
ふりがな	みむら さとし	ふりがな	わたなべ ひでひろ
代表者名	三村 聡	事務担当者名	渡部 英広
連絡先 (事務担当者)	住所	岡山県岡山市北区津島中3-1-1	
	電話	086-251-8491	FAX (担当者) 086-251-8491
	Eメールアドレス	fo-agera@okayama-u.ac.jp	HPアドレス (SNS可) https://agera.okayama-u.ac.jp/
設立目的	岡山大学地域総合研究センターは、大学と地域が連携して美しい『学都』を創造するために設置されたセンターです。全学体制からなる運営委員会を置き、大学・地域間の各種政策におけるコーディネート及びシンクタンク機能を持ち、組織的な社会貢献、地域連携を推進しています。		
活動内容 及び活動実績	<p>地域総合研究センターは、大きく2つの柱を持って展開されています。</p> <p>1つ目の柱は、「大学と地域が連携して魅力的な学都を創生する事業」です。主要なものとして、学都研究、まちなかキャンパス、西川・中心市街地活性化、留学生のまちづくり事業、地域との連携・協力事業などが挙げられます。特に、岡山市と連携して設置されたサテライトキャンパス「西川アゴラ」の活用とその事業展開は、大学と地域の連携の一例として注目に値します。</p> <p>2つ目の柱は、「実践型社会連携教育プログラムの推進」です。センター内に、まちづくり、ものづくり、教育、医療の4分野の教員を配置し、学生が実践的な学びを深める授業の開発及び展開を実施しています。</p> <p>詳細：『平成27年度活動報告書』 https://agera.okayama-u.ac.jp/outline/files/#_213</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>学生による西川周辺の調査活動 サテライトキャンパス「西川アゴラ」の様子</p>		
自由記述欄	<p>岡山大学地域総合研究センターは設立から5年目を迎える平成28年、2つの大きな変化がありました。</p> <p>1つ目は、おかやま地域発展協議体を設立したことです。地域発展協議体とは、岡山県の地域に深く関わる諸組織が連携して岡山の課題について協議し、将来のビジョンを共有する協議体であり、本センターはその中核となり各組織のコーディネートをを行います。</p> <p>2つ目は、岡山大学にて実践型社会連携教育科目が本格導入されたことです。このことは従来の講義形式の授業だけではなく、学生がより社会と関わりを持ち、実践知を得る授業が全学的にも重視されたことを意味します。</p> <p>このように、大学内外において本センターの担うべき役割は拡大、深化を続けています。こうした変化の中、地域総合研究センターは産官学連携の中核として、そして学生の実践的な学びの構築の実現に向けて、一層発展を続けていきたいと考えております。</p>		